

令和6年12月号 下忍小学校だより



下忍小タイムズ

【学校教育目標】 自ら学び やさしく たくましく

【目指す学校像】 みんなでつくる 笑顔輝く あたたかな学校

〒361-0037 行田市大字下忍 2451 番地 TEL:048-556-2404 児童数:83名



いちぐう て 一隅を照らす

校長 平井 薫

福岡市出身の中村 哲医師は、干ばつで砂漠化したアフガニスタンの荒野に水路を引き、緑の大地を復活させた人です。1991年、中村医師はアフガニスタンに診療所を開き医療活動を始めますが、「医療活動だけでは、命を救えない」と思い至り、「井戸掘りや用水路を作って砂漠を緑に変える」ことに着手しました。機械はほぼなく、手作業で近くを流れる川から水を流す用水路を現地のアフガニスタンの人々とともにつくっていきます。アフガニスタンは石の文化ということもあり、中村医師は針金で編んだ籠に石を詰めて川の両岸を固める日本古来の方法を選びました。そうすれば、壊れたとしてもアフガニスタンの人たちが自分たちで直すことができる、というわけです。

当初13キロの予定だった用水路は、およそ倍の25キロまでになりました。費やした時間は7年。「真珠」を意味する「マルワリード」と名付けられた用水路が完成しました。用水路によって荒れた土地はうるおい、花や稲や麦を育てたり、果物を育てたりできるようになりました。以前は薬物の原料になる植物を栽培していた現地の人々は、農業で生計を立てることができるようになったのです。11月26日の全体朝会では、中村医師の活動について児童に話しました。

「一隅を照らす」(仏教僧 最澄の言葉)は、中村医師が好んで使った言葉です。「今いる場所で希望の灯をともし」こと。「誰もがそこへ行かぬから、我々がゆく。誰もしないから、我々がする。」と、日本から遠く離れたアフガニスタンの人々のために生きました。中村医師のように、人にはその人にしかできないことがあります。下忍の子、「あなたにはあなたにしかできないことがある！」

◆感謝の会(11/1)◆まごころを込めて準備をし、日頃お世話になっている地域の方々をおもてなし



◆公開授業等◆ ご参観いただきありがとうございました



★児童の様子等をホームページで紹介しています。「行田市立下忍小学校」で検索、または、右側のQRコードを読み取ってご覧ください。



◆第39回浮き城のまち行田少年の主張大会(11/9)◆

「がんばりの先に」

本校代表の6年生が、今回から新設された市長特別賞を見事受賞しました!!
おめでとうございます!!



◆修学旅行(11/11・12)◆

鎌倉・横浜方面 思い出たくさん!



◆芸術鑑賞会(11/22)◆

参加型ミュージカル「るーぽ」



◆第2回PTA資源回収(11/24)◆

ご協力ありがとうございました!



※毎週水曜の美化活動は12:45~13:00

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	日		19	木	B5
2	月		20	金	B5 給食終了 フッ化物洗口 ふれあいデー
3	火	音楽集会 書きぞめ外部指導	21	土	
4	水	書きぞめ外部指導	22	日	
5	木	読み聞かせ ICT支援員来校	23	月	B3
6	金	3校合同学校運営協議会 フッ化物洗口	24	火	通常3
7	土		25	水	冬休み (~1/7)
8	日		26	木	
9	月	委員会⑧ クラブ⑦	27	金	
10	火	児童集会 登校指導 ふれあいタイム	28	土	
11	水	ICT支援員来校	29	日	学校閉庁日
12	木	運動	30	月	学校閉庁日
13	金	安全点検日 フッ化物洗口	31	火	学校閉庁日
14	土		1/1	水	学校閉庁日
15	日		2	木	学校閉庁日
16	月		3	金	学校閉庁日
17	火	表彰朝会	7	火	
18	水	B5	8	水	第3学期始業式 学級
			9	木	5時間 読み聞かせ 給食開始 発育測定1~3年

